

第63次南極地域観測行動計画（案）等

第63次南極地域観測行動計画(案)について

●往復ともに、フリーマントルにおいて給油できる見込みであることから寄港するが、復路の隊員下船は、隔離検疫期間を考慮し、日本とする。

※なお、今後、状況が好転しても、準備の都合等により変更は行わない。

事項	第63次 (案)	当初計画 (コロナ考慮なし)	第62次実績
観測隊の行動区分	本隊・先遣隊・別動隊で構成 (しらせ)(DROMLAN)(海鷹丸)	本隊・先遣隊・別動隊で構成 (しらせ)(DROMLAN)(海鷹丸)	本隊のみ
DROMLANの利用 観測隊へリ	利用する (先遣隊) チャーターしない	利用する (先遣隊) チャーターする	利用無し チャーターなし
「しらせ」の行動計画	【往路】 日本⇒豪・フリーマントル(燃料補給) ⇒昭和基地 【復路】 昭和基地⇒フリーマントル(燃料補給) ⇒日本	【往路】 日本⇒豪・フリーマントル(燃料補給・観測隊乗船)⇒昭和基地 【復路】 昭和基地⇒豪・シドニー(燃料補給・観測隊下船)⇒日本	日本⇒昭和基地⇒日本 (他国に寄港せず、日本-基地間を単純往復)
行動日数 (うち、昭和基地沖 行動日数)	141日 (58日)	151日 (58日)	95日 (30日)
隊員編成	75名 (越冬隊31+夏隊44) *他に交代要員4名と同行者7名	79名 (越冬隊33+夏隊46) *さらに、同行者13名を予定	44名 (越冬隊31+夏隊13) *他に交代要員5名
当初計画を100%とした場合の活動割合	93%	100%	60%

第63次「しらせ」行動計画（案）

総行動日数	141日
南極行動日数	99日
総航程	約18,000マイル

しらせ

R3. 11. 10 (水) 出港
R4. 3. 30 (水) 入港

フリーマントル

R3. 11. 24 (水) 入港
R3. 11. 26 (金) 出港
R4. 3. 14 (月) 入港
R4. 3. 16 (水) 出港

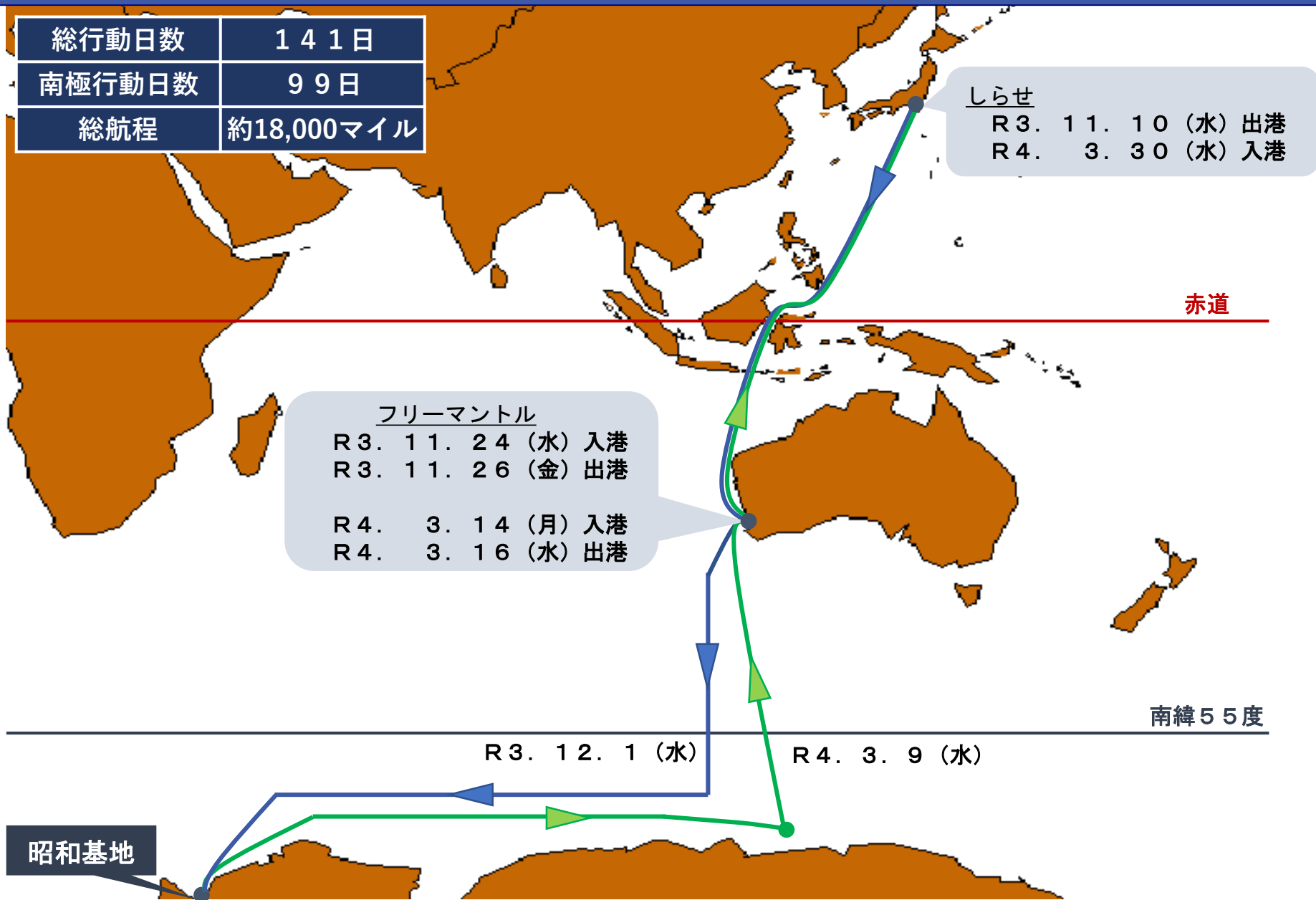
赤道

南緯55度

R3. 12. 1 (水)

R4. 3. 9 (水)

昭和基地



新型コロナウイルス関係で往路の行動計画に大幅な変更が生じた場合の対応について（案）

●新型コロナウイルス関係で、往路において行動計画に大幅な遅れが生じた場合は以下の通り対応することとし、これら以外の対応や判断を要する場合は、連絡会において審議・決定して対応する。

1. 日本に帰港して人員の交代や検疫等必要な措置を施し、可能な限り「しらせ」による越冬隊員の交代を追求する。
2. 隊員交代が不可能な見込みとなった場合には、「しらせ」による第62次越冬隊の収容のみを行う。
3. 「しらせ」による収容が出来ない場合は、他国船・航空機による収容を行う。

補足資料

国立極地研究所に設置した「南極観測COVID-19対策WG」での計3回に亘る検討を踏まえ、第63次南極地域観測隊の新型コロナウイルス感染症対策として以下の対策を決定・実施。

(国内準備段階の対策)

1. 準備期間中の健康管理及び感染確認検査を徹底する。
2. 「しらせ」乗船は日本で行うこととし、乗船前に2週間の隔離期間を設け、PCR検査を経たうえで、新型コロナウイルス非感染を確認のうえ乗船させる。
3. 隔離期間前後に感染が確認された場合に備え、欠くことが出来ない職種については交代要員を準備し、同様に検疫措置をとる。

(行動開始後の対策)

1. 船内で感染が疑われた場合には抗原検査を実施し、感染の有無を判断する。
2. 船内での感染確認時に備え、複数の隔離部屋を用意。
3. 観測隊員か「しらせ」乗員かに関わらず船内で感染者が確認された場合は、船内で感染が流行しているものとみなし、昭和基地への航海を中断。感染者対応と感染拡大防止を優先の上、関係省庁と連携し、状況に応じて対応する。

具体的な対策として以下を実施（ワクチン接種以外は概ね昨年度と同様）。

（観測隊員の出発前対策）

1. 新型コロナウイルスワクチン

すべての隊員・同行者が2回のワクチン接種済。

2. 乗船前隔離

10/28-11/10の間、横須賀港近くの施設で、隊員一人一人を個室で隔離。

3. 隔離中PCR検査

計2回（10/28、11/6）のPCR検査を観測隊員全員に実施。

4. 乗船時の対応

隔離終了後は、他者との接触を避け、専用バスにて「しらせ」まで移動。

（「しらせ」乗員の出発前対策）

1. 新型コロナウイルスワクチン

すべての「しらせ」乗員が2回のワクチン接種済。

2. 船上隔離措

10/25-11/10の間、船上で外界から隔離する。

3. 隔離中PCR検査

計2回（10/27、11/2）のPCR検査を乗員全員に実施。

（乗船後の感染症対策）

乗船後2週間は、観測隊と「しらせ」乗員が打合せ等する場合には、マスク着用と社会的距離の確保を行う。

各国の2021／2022シーズンの観測隊等の動向（9月時点）

	2021-2022シーズン動向 (COMNAP Annual General Meeting (AGM) XXXIII (2021))での各国の報告等をもとに作成)
米国	昨シーズンよりは多いが、通常※のシーズンの活動よりは少ない。越冬成立と、長期継続の観測等を優先。船舶及び航空機の運用は概ね通常通り。人員は、クライストチャーチ（NZ）で2週間の隔離を実施後に、航空機で移動する。ワクチン接種は必須ではない。
豪州	船舶及び航空機の運用を含め、概ね通常の活動に戻す。昨年実施できなかった内陸での氷床掘削計画も実施。人員は、ホバート（豪）で2週間の隔離を実施後に、航空機又は船舶で移動する。ワクチン接種は必須。
NZ	船舶及び航空機の運用を含め、概ね通常の活動に戻す。人員は、クライストチャーチ（NZ）で2週間の隔離を実施後、航空機で移動する。ワクチン接種は必須。
英国	船舶及び航空機の運用を含め、概ね通常の活動に戻す。人員は、本国もしくはフォークランド（英）で2週間の隔離を実施後、航空機で移動する。ワクチン接種は必須。
ドイツ	船舶及び航空機の運用を含め、概ね通常の活動に戻す。出発前の検疫隔離は、シーズン当初は14日間、以降は10日間を予定。ワクチン接種は必須。
フランス	船舶の運用を含め、概ね通常の活動に戻す。内陸での氷床掘削計画も実施。船舶は、ホバートで寄港し、人員・物資の搭載を行う。人員は、ホバートで2週間の隔離を実施してから、船舶に乗船する。ワクチン接種は必須。

※通常：コロナ禍以前を示す

各国の2021／2022シーズンの観測隊等の動向（9月時点）

	2021-2022シーズン動向 (COMNAP Annual General Meeting (AGM) XXXIII (2021)]での各国の報告等をもとに作成)
韓国	船舶の運用を含め、概ね通常※の活動に戻す。船舶は、リトルトン（NZ）に寄港し、人員・物資搭載を行う。リトルトンでは、乗船前に2週間の隔離を実施する。ワクチン接種は必須ではない。
中国	航空機は運用せずに船舶のみで中山基地、長城基地の越冬交代に注力。海洋観測、内陸は現時点では計画していない。船舶はクライストチャーチとケープタウン（南ア）に寄港し、物資補給を実施。隊員の乗船地は不明。ワクチン接種は必須。
インド	船舶の運用と航空機の利用を含め、概ね通常の活動に戻す。船舶であれ、航空機であれ、南極に向かう前に2週間の隔離。ワクチンは派遣隊員全員が接種することは不可能な情勢。
DROMLAN	利用者数は概ねコロナ禍以前に回復。大陸間フライト（南アーノボラザレフスカヤ）及び大陸内フライト（ノボラザレフスカヤ基地－各国基地）のフライト数も同様に回復。COMAPのガイドラインを踏まえた感染防止プロトコルを策定し、適用。大陸間フライト搭乗前にケープタウンで2週間の隔離を実施。

※通常：コロナ禍以前を示す

參考資料

第63次南極地域観測の基本的な考え方

第63次南極地域観測は以下の基本的な考え方により策定する。

1. オゾンホールが発見等、世界的に重要な成果を上げ、地球環境変動の長期連続観測を行ってきた**南極地域観測事業の継続を目指す。**
2. 昭和基地での越冬及び継続観測のための**「越冬隊の交代」と「物資の輸送」を基本とする。**
3. 観測隊員及び「しらせ」乗員の安全を確保するため、**適切な感染防止対策を講じつつ、「しらせ」及び南極での発生防止を徹底する。**
4. 上記考え方のもと、第62次の経験・実績を踏まえ、**「しらせ」は往復での燃料補給を計画し、観測期間の確保に努め、昨年実施できなかった氷床コア掘削計画や海洋観測等重要な観測を実施する。**

基本的な考え方に基づく対応方針について

今年度と例年の基本的な対応方針の相違は以下のとおり。

事項	今年度（第63次） 〔★は昨年度第62次との相違点〕	例年の場合
検疫期間等	<ul style="list-style-type: none"> ・乗船前に2週間の検疫期間を設ける ・検疫期間前後に感染が確認された場合に備え、交代要員を用意 (健康診断は例年通り実施) 	<p>設けていない (6月の隊員決定前に健康診断を実施)</p>
隊員の「しらせ」 乗・下船地	<p>乗船(往路)：日本[横須賀] ★下船(復路)：フリーマントル[豪]※ (日-豪間は民間航空機で移動)</p>	<p>乗船(往路)：フリーマントル[豪] 下船(復路)：シドニー[豪] (日-豪間は民間航空機で移動)</p>
計画等の決定	<p>★【6月本部総会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画等の(案)を決定 ・今後の情勢等によりやむを得ず変更する場合の対応方針も併せて決定 <p>【10月(予定)本部総会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終決定 	<p>6月開催の本部総会で、 観測計画等を決定</p>
出発前の 本部主催壮行会	<p>開催しない</p>	<p>11月に開催</p>

※：フリーマントルにおける隊員下船の可否は10月総会において最終決定。下船できない場合は日本[横須賀]で下船。